

あなたと議会のふれあい誌 伊奈町

第210号

議会だより

◆表紙写真募集中!
詳しくは23ページ

令和7年 12月定例会

- ◆議案概要等・審議結果…P2・3・8・9
- ◆決算特別委員会…P4・5
- ◆常任委員会…P6・7
- ◆一般質問…P11～19
- ◆議会報告会…P21～23

うめ公園の梅

新庁舎建設事業費の増額

増額 **2億7,700万円**

補正後金額 **63億7,171万円**



造成が進む建設現場

建設業法改正による
価格転嫁に関するルー
ル、伊奈町建設工事請
負契約基準約款のスラ
イド条項により、請負
代金額の変更を行なっ
たものです。

これは、材料・労務・
運搬・機器の項目毎に

昨今の急激なインフ
レーション等を踏まえ
適切な指数で算出した
スライド額などの結果
によるものです。

残工事業費に対するス
ライド額の割合は5・
91%です。

12月定例会は11月26日から12月11日まで16日間開催されま
した。町長提出の21議案及び町民からの請願1件が審議、採
決されました。

瑞祥新春

町民の皆様におかれましてはお健やかに新春をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

町では、町民の皆様に住み続けたいと思って頂くために、
また持続可能な町となる
ために、昨年も様々な事
業が行われました。今年
も多種多様な事業が行わ
れることになると思いま
す。

議会と致しましては、
今年も各事業に対し、町
民の皆様の立場に立ち、
議論を深め、審査、提言
して参ります。

今年には丙午の1年とな
ります。エネルギーが満
ち溢れる年になるとのこ
とです。町民の皆様お一
人お一人にとって幸せに
包まれた素敵な年となる
ことを御祈念申し上げます。



伊奈町議会議長 上野尚徳

公職選挙法の規定により、選挙区内に年賀状等のあいさつ状を出すことは禁じられています。
議員個人としての年賀状は失礼させていただきます。

図書館の指定管理を1年契約

予算額 **6,935万円**



文教民生常任委員会での視察

問 役場新庁舎に図書館が移転することに伴い、移転までの1年間の指定管理契約を結ぶこととなったものです。

答 現行の指定管理者（株式会社図書館流通センター）に随意指定契約とした理由は、

問 1年間の短期であることと、現在の指定管理者が安定的な管理、運営ができていることから決定した。

答 管理、運営における改善点の意見は、

答 選定委員会において利用者アンケートから、駐車場が狭い、資料数が少ないといった意見があった。これらに対しては、今後の図書館運営の中で改善していきたいとの回答があった。

問 1年契約で、割高な金額になってはいないか。

答 物価上昇分は見えておりその分は上がっているが、基本的には変わらない。

志久駅エレベーター工事契約を締結

契約金額 **3億2,615万円**



エレベーター及び通路設置イメージ
※車道は写真左側に迂回になります

一般競争入札の不調から、工期を見直し、早期の契約締結とするために、東鉄工業株式会社との随意契約を前提に工事請負契約が締結となったものです。

問 工期の見込みは、

答 現段階では、来年4月に工事着手し、令和9年3月に竣工の見込みである。

問 改札からの動線、エレベーターの設置はどのようなか。

答 改札を抜け、エレベーターへの通路を通り、ホームに上がる。ホーム上の位置は、中ほどよりも少し大宮駅寄りとなる。

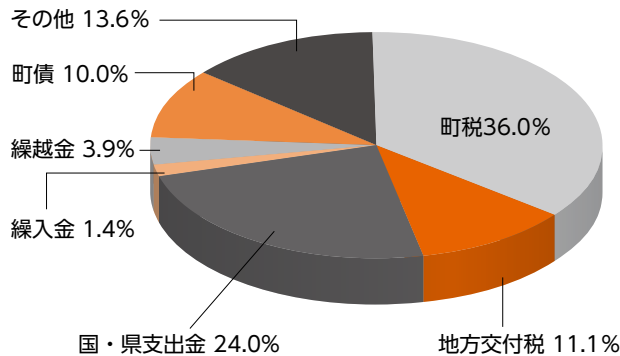
問 エレベーター位置をもう少し改札寄りにできないのか。

答 改札に近い位置がよいのだが、新幹線の橋脚の柱の間でエレベーターを通すことのできる場所がここしかなかった。

令和6年度決算は、議長、監査委員を除く議員で構成された決算特別委員会（審査日10月29日・30日）で審査し、12月定例会の本会議において採決し、全て認定されました。

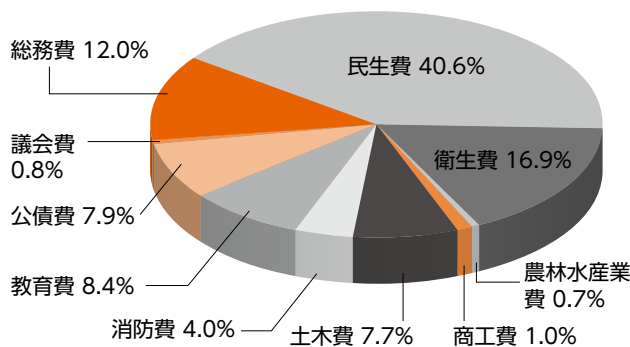
令和6年度の歳入構成比

歳入決算額
167億2,371万円



令和6年度の歳出構成比

歳出決算額
160億6,288万円



令和6年度決算審査
町税が収入の約36% 民生費が支出の約41%

一般会計 歳入

問 個人住民税所得割減少の要因は。

答 昨年度に実施された定額減税の影響だ。

問 収入未済額の催告をSMS（ショートメッセージサービス）で行った成果は。

答 送信後に、約5930万円が入金された。問 不納欠損の増加は、担保税力を失った滞納者の増加が要因だ。

一般会計 歳出

総務費

問 ふるさと寄附金の増加理由は。

答 防災用ヘルメットや新規返礼品の自転車が人気であるためだ。

問 町職員の平均月間残業時間は。

答 14・9時間で、最大は162時間だ。

問 町職員の通勤手当算定方法は。

答 公共交通機関での

民生費

問 民生委員の年齢層は。

年代	人数
40～45歳	2名
46～50歳	0名
51～55歳	3名
56～60歳	3名
61～65歳	13名
66～70歳	21名
71～75歳	18名
76～78歳	4名

問 医療的ケア児の保育所受入れ状況は。

答 看護師を派遣している町立北保育所で受入れている。通常クラスで、医療的ケアをしつつ、一般的な保育所の生活を送っている。

問 レスパイトケア支援事業の内容は。

答 重症の身障児を受入れる事業所に対し、医療的ケアの軽い方の受け入れには、1日あたり1万円、重い方は、2万円を助成している。

問 ヤングケアラー研修の参加者は。

答 82名だ。

問 ブックススタート事業の実績は。

答 合計227冊だ。

品目	金額(千円)
粗大ごみ	5,619
家庭持込廃棄物	480
事業系一般廃棄物	58,260
動物死骸	18
粗大ごみ収集運搬手数料	645

問 廃棄物処理手数料の内訳は。

答

検討を行っている。

問

町内循環バスい

まの検討状況は。

問

町内運行の民間バ

ス事業者、タクシー

事業者や関東運輸局埼玉

運輸支局へ聞き取り調

査をし、最適な公共交

通の導入について内部

検討を行っている。

問

廃棄物処理手数料

の内訳は。

答

羽貫駅南側高架下

に集められた自転車は

何か。

問

処分待ち放置自転

車と、町観光協会の忠

次レンタサイクルが混

在している。借地料は

11万9900円である。

問

町内循環バスい

まの検討状況は。

衛生費

問 脱炭素促進事業の概要は。

答 横瀬町の町有林の間伐業務に対する負担金で、450本の間伐と100メートルの作業道を設置および補修。伊奈町排出のCO₂のうち7・6トンが吸収された。

問

搬出先	搬出量
福島県小野町	490.13t
山形県米沢市	62.24t
秋田県小坂町	155.11t
埼玉県寄居町	111.01t

問 ごみ収集運搬委託料が増額の理由は。

答 昨年度に実施のクリーンセンターの基幹改良に伴う外部搬出のため。

問 妊娠後期支援事業の概要は。

答 アンケートを提出の275名のお母様に8千円の商品券を渡し

た。アンケートの結果を踏まえ、切れ間なくフォローしている。

農林水産業費

問 農業委員会の審議件数は。

答 年に12回開催し、審議件数は29件だ。

問 農業戦略アドバイザー業務の効果は。

答 伊奈町産米応援プロジェクト、梨を保育所給食に提供する仕組み構築などの事業等や、新規育成についての調査や企業参入についての資料の収集だ。

商工費

問 従業員健康診断補助金の実績は。

答 38事業所、288名の方が利用した。

問 県外人観光客誘致推進協議会負担金とは。

答 台湾市場向けのプロモーション、県収集のインバウンドデータ活用勉強会、インバウンドの受入れ体制の整

備事業補助金に使用されている。

土木費

問 耐震改修等補助事業が耐震診断1件だったが、周知の方法は。

答 広報いな、ホームページへの掲載と、リーフレットの全戸回覧を行い、また一部地域の対象住宅162軒に個別配布を行った。

問 第1号調整池草刈委託料増額の理由は。

答 クリーンセンターが改修工事中であったため、一部を民間業者へ委託したためだ。

消防費

問 北部消防署新設事業の進捗は。

答 候補地8か所を抽出し、立地条件等の調査を実施した。

教育費

問 人権啓発DVD購入の内容は。

答 今回1本購入。平成18年頃から継続して

購入しており、累計58本ある。

問 英語指導助手事業費の減額要因は。

答 業者からの見積りが低かったからだ。

問 校内教育支援センター支援員配置事業の現状は。

答 伊奈中学校の校内教育支援センター「和み」に支援員4名を配置した。

問 教育補助員等配置事業の状況は。

答

ことばの指導員	小中学校	1名
さわやか相談員	各中学校	各1名
教育補助員	小針中学校	2名
	その他中学校	各1名
特別支援教育支援員	小針北小学校	2名
	その他小学校	各1名
特別支援学級介助員	小中学校	全21名

答 被保険者数が減少傾向のためだ。

問 一般会計からの法定外の繰入理由と影響は。

答 税収の不足分について、一般会計から繰入れをした。

繰入金をしたことによる国や県からの支出金への影響は特にな

介護保険特別会計

問 趣旨普及費の消耗品費の内容は。

答 第9期介護保険計画策定に合わせパンフレットを5千冊作成した。

問 一般介護予防事業の実績は。

答

能力教室	12回	214名
ロコラジさろん体操サポーター養成講座	6回	47名
フォローアップ講座	1回	13名

国民健康保険特別会計

問 一般被保険者診療報酬負担事業の減額理由は。

令和6年度決算認定 議案一覧及び審議結果

議案番号等		議案名	審議結果	
町長提出議案	決算	認定第1号	令和6年度伊奈町一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
		認定第2号	令和6年度伊奈町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
		認定第3号	令和6年度伊奈町中部特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
		認定第4号	令和6年度伊奈町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
		認定第5号	令和6年度伊奈町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
		認定第6号	令和6年度伊奈町水道事業会計決算認定について	全会一致 認定
		認定第7号	令和6年度伊奈町公共下水道事業会計決算認定について	全会一致 認定

委員会での質疑と答弁の一部を要約しました。

総務 建設産業

町長提出議案6件、請願1件が審議されました。(12月1日、5日開催)

所管事項

一般会計の歳入全般、行政施策の総合企画調整、行財政運営、情報公開、職員、交通安全、防犯、防災、町税の賦課徴収、住民相談、消防、救急、農業、商工業、区画整理、道路河川、公共下水道、水道事業、建築関係

伊奈町総合センター の管理者決まる ～伊奈町商工会加わる～



町道第4017号線の現地視察
(丸山駅南西の沼橋に続く道路)

●伊奈町総合センター 指定管理者の選定

問 現状の2社に加えて商工会が参画し、約1億2千万円の増額になっている。商工会の役割は。

答 町内事業者等との連絡調整、主催事業や取組に関する町内連携において、アドバイザリー業務を行う。

問 商工会の責任負担は。

答 現状の2社が50%

ずつ負担し、伊奈町商工会が0%である。商

工会の業務の経費などは、指定管理料から支払われ、その旨は当議案議決後締結される協定書に盛り込まれる。

問 指定管理候補者選定委員会のメンバーは。

答 職員4人と区長会から1人、子ども育成会連絡協議会から1人、長寿クラブ連合会から1人の構成だ。

問 5年間で約1億2

千万円増額する根拠は。

答 人件費の積算については、令和5年国税庁の民間給与実態統計調査を基に平均給与を算出し、社会保険などの雇用主負担分を乗じた額に、物価高騰などの推移の引上げ率を掛けて見込んだものだ。

問 運営を町からの補助金で支援される商工会が、同じく町からの請負事業に参画するのは、疑念を感じる。

答 現管理者2社からの要望があって、参画したものなので、全く問題ないと考えてる。

問 商工会が町企業を紹介した場合、その対価は発生するか。

答 発生しない。

問 指定管理者の衛生管理状況は。

答 入浴施設衛生マニュアル徹底、現場等実績報告、管理運営委員会で確認を実施した。

問 レジオネラ属菌関

係の評価は。

答 施設設備維持管理計画の適切化、効率化として総合的に評価している。

●町道第4017号線の工事

問 同工事の概要は。

答 原市沼上の池調節池整備に伴う道路のかさ上げ及び拡幅工事だ。

問 道路の建設費用は。

答 総額約4億6千万円で、町負担は約6千万円だ。

●町道路線の廃止

問 廃止される2路線の利用状況と払い下げ後の用途は。

答 2路線とも申請者の土地に囲まれた町道で、使用は申請者がほとんど。払い下げ後は道路で分断されている土地を一体利用する。

常 任 委 員 会 レ ポ ー ト

文教民生

町長提出議案6件が審議されました。(12月2日開催)

所管事項

町民の諸証明、国民健康保険、介護保険、医療、予防接種、各種検診、社会福祉、児童福祉、母子福祉、保育、子育て支援、人権、環境衛生、学校教育、社会教育、生涯学習、学校給食関係

少子高齢化の加速により、 変わる社会保障制度

●障害児通所支援事業費の増額

問 主な要因と利用状況、当初見込みは。

答 単価改定ではなく、放課後等デイサービスへの利用児童数の増加が主因で、未就学・学齢期とも増加傾向にあり、当初の延べ人数を上回っている。

問 対象児童数が大きく増えていない中で利用が増えている理由は。

答 知的障害への理解

の広がりにより早期療育の傾向が強まっていること、町内外の事業所が増え利用しやすくなったこと、保護者の就労状況も利用拡大に影響している。

●体育施設備品購入費及び少年スポーツグラウンド整備工事

問 寄附金の趣旨と整備内容は。

答 解散する町内NPO法人からの寄附金を子どものスポーツ振興

のために活用するものであり、バレーボール支柱・ネット等の更新のほか、スポーツグラウンド内野部約1200平米の不陸整正、山の引きならし、ホームベース再設置と塁間測量・ダイヤモンド再整備などを行う。

●国民健康保険特別会計補正予算

問 新たに導入される「子ども・子育て支援金」について、具体的な使途は。

答 児童手当、妊婦支援給付金、出生後休業支援給付金、育児時短就業給付金、こども誰でも通園制度、国民年金第1号被保険者の育児期間中保険料の免除等が予想されている。

●配食サービス事業

問 委託料の増額について、当初予算との比較、利用食数の見込み、物価高への影響は。

答 当初予算592万

7000円に対し、今回の補正により総額842万8000円となる。独居高齢者等の増加に加え、猛暑で外出が困難となったこと、ケアマネージャーによる周知、広報誌での案内などにより利用者が増加。町負担390円×6412食分を追加するものだ。

●乳児等通園支援事業

問 「こども誰でも通園制度」の目的、一時預かり事業との違いは。

答 保育施設に所属していない0歳6か月から3歳未満の子どもの育ちを支援し、保護者の孤立を防ぐことが目的である。一時預かりが保護者の事情への対応を主眼とするのに対し、継続的な発達支援と親子の社会的つながりに重点を置く制度。



「こども誰でも通園制度」の会場予定とされる北保育所内の子育て支援センター

〈12月定例会〉 議案一覧及び審議結果

議案番号等		議案名等と主な内容	審議結果	
町長提出	人事	第56号 議案 伊奈町公平委員会の委員の選任について ・公平委員会の委員の川田貴雄氏の任期が令和7年12月21日で満了となるため、同氏を再選任することについて同意を求める。	全会一致	同意
	補正予算	第57号 議案 令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第7号） ・歳入歳出各8,119万9千円を追加し、補正後総額を各158億7,865万8千円とする。歳入では、人事院勧告による会計年度任用職員報酬の増に伴う補助金の増額、財政調整基金からの繰入。歳出では、給与費及び共済組合負担金等件費並びに特別会計への繰出金の増額。	全会一致	原案可決
		第58号 議案 令和7年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各180万円を追加し、補正後総額を各34億9,344万9千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
		第59号 議案 令和7年度伊奈町中部特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各55万円を追加し、補正後総額を各1,882万8千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
		第60号 議案 令和7年度伊奈町介護保険特別会計補正予算（第3号） ・歳入歳出各280万円を追加し、補正後総額を各33億9,754万円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
		第61号 議案 令和7年度伊奈町水道事業会計補正予算（第2号） ・水道事業費用は、営業費用を169万5千円を増額し、10億7,159万1千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
		第62号 議案 令和7年度伊奈町公共下水道事業会計補正予算（第2号） ・下水道事業費用は、営業費用を104万4千円増額し、8億9,250万7千円とする。人事院勧告による給与費及び共済組合負担金等の増額。	全会一致	原案可決
	条例	第63号 議案 議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例 ・議会の議員の期末手当の支給率を0.05月分引き上げる。	賛成多数(注1)	原案可決
		第64号 議案 町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例 ・町長、副町長及び教育長の期末手当の支給率を0.05月分引き上げる。	賛成多数(注1)	原案可決
		第65号 議案 伊奈町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・人事院勧告により、町職員の期末手当及び勤勉手当を合わせて、支給率を0.05月分引き上げるとともに、通勤手当の見直し並びに若年層に重点を置きつつ給料表の全部を増額改定するもの。	全会一致	原案可決
	補正予算	第66号 議案 令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第8号） ・歳入歳出各8,986万8千円を追加し、補正後総額を159億6,852万6千円とする。歳入では、障がい児等の通所系サービス利用に伴う負担金及び地域生活支援事業の移動支援利用等の増加に伴う補助金並びに全国消費生活情報ネットワークシステムの新システム切り替えに伴う補助金、ふるさと寄附金等寄附金の増額。歳出では、ふるさと寄附金の増に伴う基金積立金、町税等の還付金、在宅重症心身障害児レスパイトケアサービス利用等扶助費、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計への繰出金、私立保育園の業務ICT化への支援に伴う補助金、全国消費生活情報ネットワークシステム新システム切り替えに伴う委託料等、少年スポーツグラウンド整備工事に伴う工事請負費等の増額。	全会一致	原案可決
		第67号 議案 令和7年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） ・歳入歳出各277万2千円を追加し、補正後総額を各34億9,622万1千円とする。令和8年度からの子ども・子育て支援金制度開始に伴う国民健康保険システム改修費、社会保険加入等の増加に伴う還付金不足額の増額。	賛成多数(注1)	原案可決
		第68号 議案 令和7年度伊奈町介護保険特別会計補正予算（第4号） ・歳入歳出各323万円を追加し、補正後総額を各34億77万円とする。窓口サービス充実のための会計年度任用職員の雇用、配食サービス利用者の増加に伴う委託料の増額。	全会一致	原案可決
	条例	第69号 議案 伊奈町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 ・令和8年度から始まる乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）が町の認可事業に位置づけられたことから、設備及び運営に関する基準を定める。	賛成多数(注1)	原案可決
		第70号 議案 伊奈町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例 ・給付制度の対象となる事業者が、乳児等通園支援を提供するため運営に関する基準を定める。	賛成多数(注1)	原案可決

議案番号等			議案名等と主な内容	審議結果	
町長提出	認定	第71号 議案	町道路線の認定について（開発行為） ・町道第5115号線（中央二丁目204番23地先～中央二丁目204番12地先）は、一般交通の用に供するため、新たに町道として認定する。	全会一致	原案可決
	廃止	第72号 議案	町道路線に廃止について（払い下げ） ・町道第1181号線（小針新宿字高野屋敷448番地先～小針新宿字高野屋敷445番地先）及び町道第4297号線（小室字志ノ崎1534番地先～小室字志ノ崎1533番地先）は、それぞれ一般交通の用に供する必要がなくなったため、町道を廃止する。	全会一致	原案可決
	その他	第73号 議案	公の施設の指定管理者の指定について（伊奈町総合センター） ・伊奈町総合センターの指定管理業務について、令和8年4月1日から令和13年3月31日までの期間、いなパブリックパートナーズを指定管理者に指定する。	賛成多数 (注1)	原案可決
		第74号 議案	公の施設の指定管理者の指定について（伊奈町立図書館） ・伊奈町立図書館の指定管理業務について、令和8年4月1日から令和9年3月31日までの期間、株式会社図書館流通センターを指定管理者に指定する。	全会一致	原案可決
	補正予算	第75号 議案	令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第9号） ・歳入歳出各1,289万6千円を追加し、補正後総額を159億8,142万2千円とする。伊奈町役場新庁舎建て替えの契約締結後の賃金水準及び物価水準の上昇による請負代金額の変更に伴う工事請負費の増額。	全会一致	原案可決
	契約	第76号 議案	工事請負契約の締結について（志久駅エレベーター設置工事） ・志久駅エレベーター設置工事の請負契約を随意契約で、東鉄工業株式会社埼玉支店と3億2,615万円で締結。	全会一致	原案可決
請願	請願受付 第1号		県民活動総合センターの存続を求める請願 ・県民活動総合センター存続を求める意見書等を含む積極的な働きかけを、引き続き伊奈町議会としても埼玉県知事に対して行うこと。	賛成多数 (注1)	意見付採択 (注2)

（注1）全会一致でないものは下表のとおり。全会一致のものは議員ごとの賛否の表示は省略します。
（注2）意見：遅くとも3月議会までには意見書を出す。

賛否がわかれた議案の審議結果

○…賛成 ●…反対 欠…欠席

議案名		議員名															結果
		富井篤弥	仲島雄大	川内雅人	木俣美千代	武藤倫雄	高橋まゆみ	山野智彦	大野興一	栗原恵子	戸張光枝	藤原義春	五味雅美	上野尚徳	大沢淳	佐藤弘一	青木久男
第63号 議案	議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－	○	○	○
第64号 議案	町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－	○	○	○
第67号 議案	令和7年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	－	●	○	○
第69号 議案	伊奈町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	－	●	○	○
第70号 議案	伊奈町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	－	●	○	○
第73号 議案	公の施設の指定管理者の指定について（伊奈町総合センター）	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
請願受付 第1号	県民活動総合センターの存続を求める請願	●	○	○	●	●	●	○	○	●	●	○	○	－	○	○	○

（注）議長「－」は議事進行を行うため、賛否の表明はしません

討論

～12月定例会では、議案について討論がありました～

第63・64号議案

反対討論

富井 篤弥

議員や町長、副町長、教育長の期末手当の支給率引き上げについて、現状は第三者の評価がなく、客観的根拠がない中で議会の議決で決定していることは問題であり容認できない。

議員報酬額の適正化議論がなされている今、報酬や期末手当について一層の客観性と透明性を確保する改革が必要である。故に期末手当も報酬等審議会の所掌事項とすべきである。

第67号議案

反対討論

大沢 淳

子ども子育て支援金制度は、子育て支援の公費負担を減らし、医療保険料への上乗せで国民の負担を増やす仕組みである。もともと高い国保税をさらに押し上げる問題があり、国保加入世帯への影響は深刻である。

第69・70号議案

反対討論

大沢 淳

こども誰でも通園制度は、本来子育て支援として必要な面もあるが、町内では保育士不足が深刻で民間園は参加を見送り、北保育所のみでの実施となる。0～2歳児には専門性と十分な人員が不可欠で、現場の負担は大きくなる。まずは一時預かりの改善など基盤整備を優先すべきだ。

賛成討論

富井 篤弥

こども誰でも通園制度は、保護者の就労状況に関わらず乳幼児が保育サービスを利用でき、育児負担の軽減や虐待リスクの抑制につながる重要な制度である。保育士不足等課題もあるが、育児家庭を支えるセーフティネットとして、町で導入可能な環境を整える意義は大きい。町には、保育人材の確保や保育

士の負担軽減策を求め、2議案に賛成する。

第73号議案

反対討論

武藤 倫雄

新たに伊奈町商工会が共同事業体に加わり、指定管理業務を請負う契約で、商工会に町からの運営費補助金と指定管理業務からの公金が入る構造となる。二重給付などが生じる可能性はある契約はすべきではないと考える。

反対討論

富井 篤弥

町総合センターの3者の共同事業体による指定管理体制は、委託料や補助金といった公金の流れが複雑となり、財務の透明性が低下する問題を抱えている。従って議会でのチェックも困難となることから、賛同できかねる。

賛成討論

仲島 雄大

選定は適正で役割分担も協定により明確化される。実績ある体制に新規事業者が加わり地域連携が強化され、更なる町民サービス向上が期待できる。選定プロセスも公平且つ透明性は確保されており妥当と判断する。

賛成討論

川内 雅人

総合センター運営に長年の実績がある現状の2社に、地域事業者の要である商工会が参画することで、町内企業活用と地域活性化を期待できる。また商工会の立ち位置などの疑義も解消したため、本議案に賛成する。



請願受付第1号
県民活動総合センターの
存続を求める請願

反対討論

富井 篤弥

県活の財政負担は将来へ先送りできない重要な課題である。将来世代に負担やツケを残さないことを優先し、町民にも県民にも最善となる結論を出すには、存続や廃止など、あらゆる選択肢を含めて検討を進める必要がある。

賛成討論

五味 雅美

県活は全県から団体も個人も幅広く利用されている。廃止の影響は計り知れない。廃止すべきとの根拠も決定過程にも疑義がある。存続を求める署名活動も進んでおり、利用者の声を県に届けるため、議会が動くべきだ。



一般質問

そこが
聞きたい



15人が登壇

議員が町政全般または特定の事項について、町の見解を問い質します。12月定例会では、15人の議員が質問しました。下記は本会議での質問事項を掲載しています。12ページから19ページには、主な質疑応答を質問した議員が要約して掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、図書館にある会議録および、伊奈町議会ホームページの会議録や録画でご覧になれます。

ページ	質問議員	質問事項
12	仲島雄大	●中学校における自転車通学許可基準と安全対策の見直しについて ●難病当事者の就労促進と町職員採用の多様化について
12	高橋まゆみ	●伊奈中学校の設備等の経年劣化の現状と課題について
13	武藤倫雄	●「空家等対策の推進に関する特別措置法」改正後の町の対応について ●こども性暴力防止法（日本版DBS）の施行準備について
13	藤原義春	●伊奈町版スーパー・シティプロジェクトについて ●下水道事業の包括的民間委託について
14	佐藤弘一	●町の行政サービス（窓口対応等）の在り方について ●伊奈町内での交通死亡事故の発生とその対策について
14	山野智彦	●町のコメ減反の推移と今後について ●外国人も住みよい町とするための諸伝達の状況と改善 ●町内の美観向上、美化活動の条例制定を ●医療保険料・介護保険料の引き上げ限界について
15	富井篤弥	●子どもや若者の「学ぶ努力」、「学んだ努力」に支援を ●町の広報のあり方について ●ネーミングライツの効果的な導入を ●町でも新たな官民連携手法の効果的活用を
15	木俣美千代	●予防医療「病気は治すから防ぐ」へ ●商品中古軽自動車等（種別割）に対する課税免除の推進を ●防災の観点から見た狭隘道路の拡幅整備について ●有事の際の透析患者の安全確保を
16	栗原恵子	●伊奈町役場のDXの現状と今後の進展について ●学校・家庭・地域の連携・協働と家庭・地域の教育力の向上について
16	大野興一	●子どもの自殺防止について ●ゴミ分別アプリの多言語化の強化を ●高齢者・障がい者の投票支援
17	大沢 淳	●地域経済の発展と建設労働者の労働条件改善のために ●新庁舎はあらゆる障害に配慮した設計・仕様に ●工事現場等の仮囲いの規制について
17	五味雅美	●放課後児童クラブの指定管理者制度の検証を ●氏名の読み方は個人の権利として尊重を ●農薬散布の安全の確保を
18	青木久男	●老人福祉センター入浴施設での安心・安全対策を求めて ●町公用車の運行での安心・安全対策を求めて
18	川内雅人	●公園の雑草処理について
19	戸張光枝	●活字文化を守り、町の未来を守り、人の尊厳を守る ●助産師が提供する産後ケアに見合った委託料の適正化と持続可能な事業展開を ●住民の安心・安全確保及び負担軽減を図るためのハチ・害虫・害獣駆除支援制度の導入を

自転車通学許可基準と 安全対策の見直しについて



日本維新の会

なかしま ゆうた

仲島雄大 議員

問 学校ごとの自転車通学基準は。

答 伊奈中が「直線距離で2・0 km以上」、小針中が「概ね2・3 km以上」、南中は「原則徒歩通学」だ。

問 伊奈中2・0 km、小針中2・3 kmという

300 mの差が生じるのは。

答 伊奈中は、地図上の円で直線距離2・0 km、小針中は、地図の道路上概ね2・3 kmを目安にしているためだ。

問 各学校の自転車許可基準が制定された年

月日は。

答 2中学校とも制定された年月日は不明である。

問 令和4年の文部科学省における計画では通学安全は自治体の責務と明示されているが、基準の見直しに向けた検討を始める段階に進むことは可能か。

答 多くの課題を整理する必要がある。これらの前提が十分に整わない現状では、検討に着手することは、現実的ではないと判断する。

問 酷暑・熱中症リスクを踏まえた上で、長距離徒歩通学の在り方を見直す考えは。

答 学校や地域、保護者、関係機関と連携を図りながら、総合的に判断する。



異常気象等により徒歩通学の見直しが求められる(イメージ写真)

学校設備の修繕に予算付けを



清風クラブ

たかはし

高橋 まゆみ 議員

体育館の天井から剥がれた断熱材とコウモリの糞被害

問 アスベスト含有の疑いとコウモリの侵入について見解と対策は。

答 平成17年の調査でアスベストの含有は無い事を確認済。修繕が

必要だが、今後、体育館のエアコン設置を進める際の断熱改修工事と併せて検討していく。

コウモリの早急な対処として忌避剤や照明等を活用した方法を学校と協議を重ねながら有効な対策を進める。

問 トイレの洋式化は完了したが、流れなくなれば意味がない。大雨時に雨水排水系統のオーバーフローが発生し歩行に支障をきたす。総合的な見解と対策は。

答 トイレ、浄化槽、下水道整備等の諸課題は認識している。今後、費用面や優先度等を勘案しながら適正に判断していく。

凶悪侵入犯罪への対応

問 門扉が無い出入口があるが不審者対策はあるか。

答 毎年、警察の指導の下で実践的な訓練を実施している。門扉やゲートの設置等を含め総合的な防犯対策について引き続き学校と協議しながら進めていく。



伊奈中学校体育館。学校生活、部活動、生涯スポーツ、災害時指定避難所など重要な役割を担う体育館だが、築45年が経過し劣化が著しい

町民守る法改正に町は



武藤 倫雄 議員
むとう りんお
奈高市議会

空き家対策法

問 管理不全空き家に対する住宅の固定資産税6分の1特例の解除、町長による財産管理人の選任請求等が可能となった法改正だが、町の対応状況はどうか。

答 伊奈町空き家等対策協議会を設置し、「伊奈町空き家等対策計画」を策定した。今後は管理不全空き家等の判定基準の作成及び認定に向けて進んでいく。

問 認定作業の開始時期はどうか。

答 現時点で具体的な



2026年12月25日スタート(出典:こども家庭庁)

時期は決まっていない。固定資産税の賦課に係る影響もあるので慎重に進めていく。

こども性暴力防止法

問 制度開始まで1年法が定める未然防止の環境づくりと早期発見のための仕組みづくりはどう取り組むのか。

答 こどもの心身の状況観察や面談、相談窓口の設置、従業者への研修などが国から示されている。

問 子どもと接する業務につく職員の性犯罪前科を調査する「日本版DBS」はどうか。

答 国ガイドラインに基づき適切に対応する。

問 塾やスポーツクラブなどの民間事業者への対応はどうか。

答 国の認定を受けて制度の対象となる。有益であると捉えている。

問 志久駅周辺のにぎわい拠点づくりはどうなっているか。

答 志久駅周辺の企業や、キッチンカー事業者等と連携し、にぎわい創出に係る財源確保の仕組み作りについて



伊奈町版 スーパード・シティプロジェクト



藤原 義春 議員
ふじはら よしはる
新設伊奈

志久駅周辺

問 志久駅周辺のにぎわい拠点づくりはどうなっているか。

答 志久駅周辺の企業や、キッチンカー事業者等と連携し、にぎわい創出に係る財源確保の仕組み作りについて

問 この活用はどうなっているか。

答 実態調査では、空き家は232軒あった。空き家の相談窓口となり、空き家コーディネーターの実証事業に取り組んでいる。

問 空き家・空き店舗

問 進行状況

問 進行状況はどうか。

答 令和6年1月のエントリースーツ公表後、「地域まちづくり計画」を令和7年度中に公表する予定で準備を進めている。

問 A-活用型オンデマンド交通

問 導入については。

答 導入している自治体への訪問や、それぞれの地域が抱える公共交通の課題や導入背景、現状などの聞き取りを実施している。鳩山町のデマンドタクシーは町民の満足度が高いと聞いている。



志久駅周辺



伊奈町内での交通死亡事故の発生とその対策について



新政伊奈
さとう こういち
佐藤 弘一 議員

問 令和7年10月に町内で発生した交通死亡事故の状況は。

答 令和7年10月18日、17時30分頃西小針二丁目で発生。横断歩道を通行中の歩行者がはねられた。

問 後の町の対応は。

答 上尾警察署からの連絡を受けて、町長等に報告。危機管理課による現地確認を実施。交通事故への注意喚起をウェブ及びチラシ配布で実施した。

問 痛ましい事故を教訓に今後の交通安全対策は。

答 交通ルールを遵守することが重要。関係機関と連携し、交通安全対策や情報発信を継続的に実施する。

町の行政サービス（窓口対応等）の在り方について

問 新庁舎オープンに絶好のタイミング。住民サービスの向上に向けた取組をスタートさせるべきでは。

答 新庁舎には図書館が複合化され、閉庁日でも多くの方の来庁が想定され、人の流れが変わることも考えなければならぬ。閉庁日でも来庁された方が憩いの場として利用していただける新庁舎を目指し、より一層の住民サービスの向上に努める。



死亡事故が発生した西小針地内の横断歩道

コメ高騰の原因 国保等の保険料引上げは限界



幸福実現党
やまの ともしこ
山野 智彦 議員

コメ高騰の原因は

問 農水省の発表では4年連続で需要よりも生産量が不足していた。コメ減反が原因では。

答 様々な要因が重なったととらえている。増産に関わる農地の集積・集約状況は。

答 転貸約84ha、区画拡大約24haだ。

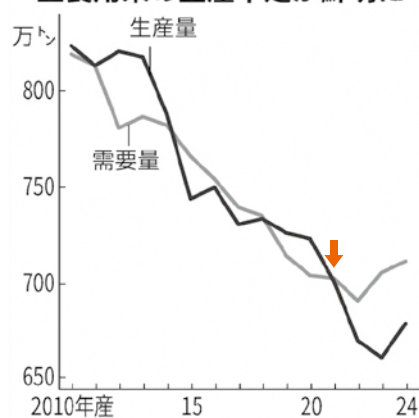
問 コメ輸出成功事例を農業者に紹介しては。

答 ニーズを把握し、調査・研究する。

外国人へのルール伝達

問 町内外国人の居住区分ごとの人数は。

主食用米の生産不足が鮮明に



(注)24年産の需要量は参考値
(出所)農林水産省

4年前（2021年）から、コメの不足は起きていた（出典：2025年7月30日付日本経済新聞より）

答 在留期限のある技能実習生等が700人、期限のない永住者が215人、計915人。

問 生活ルール伝達は。

答 外国人向けチラシや冊子で伝えている。

迷惑放置に美化条例を

問 電化製品等の放置、隣地・道路への樹木や草の越境放置、空家、野良猫へ餌やり等への対策として罰則を含めた美化条例の検討は。

答 住民の自主的な美化推進で取り組む。

保険料引上げは限界

問 例えば子ども医療費に月400円の自己負担を導入した結果、助成額が23%減少した自治体がある。これ以上保険料負担を上げないためにはこうした検討も必要では。

答 今の取組の中で、医療費抑制を目指す。

町でも奨学金返還支援制度の拡充を



予防医療「病気は治すから防ぐ」へ



改新みらい
とみい あつや
富井 篤弥 議員

問 町在住の若者に対し、一定の条件を満たしたうえで奨学金の返還支援を行う考えは。

答 制度設計や財源確保の問題、また町以外が実施する既存の経済的支援制度もあるため、実施する予定はない。

問 総務省の「奨学金を活用した若者の地方定着促進」制度について、町もこの制度を活用することはできるか。

答 町が奨学金返還支援事業を開始する場合には、総務省のこの制度を活用することは可

能と考えるが、実施する考えはない。

問 私立保育所だけでなく、町立の保育士に対する奨学金返済支援について、町の考えは。

答 今後、情報収集に努めるとともに調査・研究してまいりたい。

より町民に届く広報を
問 「広報いな」の発行目的について伺う。

答 目的は、町政に関する情報を町民に広く分かりやすくお伝えすること。

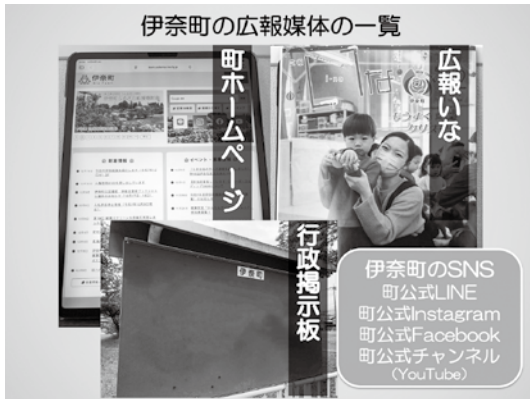
問 ここでの町民とは、町にお住まいの全ての方を指している。

問 行政揭示板の運用見直しの考えは。

答 区からの要望等必要に応じて対応したい。

問 広報手段の町民ニーズを把握するためアンケート調査の考えは。

答 研究していきたい。



伊奈町の広報媒体の一覧
限られた財源の中でより町民全体に届く広報のために、各広報媒体の見直しが必要です

主ながんの5年生存率(15歳以上)の変化		診断年	
		1993～96年	2012～15年
部位	性別		
前立腺	男性	59.4	94.3
子宮	女性	73.2	75.9
乳房	男性	77.1	85.3
	女性	82.9	88.7
大腸(直腸・結腸)	男性	64.3	68.1
	女性	61.3	66.0
胃	男性	60.1	64.4
	女性	56.7	61.4
肺	男性	17.9	30.2
	女性	28.4	46.8
肝・肝内胆管	男性	22.0	34.9
	女性	23.5	31.2
膵臓	男性	5.9	10.7
	女性	5.7	10.2
悪性リンパ腫	男性	43.6	61.9
	女性	45.2	66.9

※国立がん研究センターの資料を基に作成。単位は%

5年生存率のがんの変化

問 若い世代の乳がん検診を実施する見解は。

答 将来のリスクに備え、がんに関する啓発に重点を置いていく。

問 乳がん検診受診率向上のための今後の課題は。

答 社会状況の変化に



公明党
きまた みちよ
木俣 美千代 議員

答 ナンバープレート

問 対応した受診しやすい環境づくりのために、開催日時の検討や集団検診回数の見直しが必要であると考えている。

答 軽自動車等の課税免除、商品であり使用しない商品であること、透析患者の安全確保、有事の際の町の支援は。

問 必要なマニュアルの整備、患者への医療体制の確保に向け透析実施医療機関との協力体制の構築に取り組む。

答 防犯の観点から見た狭隘道路の拡幅整備

問 今後どのようにに拡幅整備を促進していくのか。

答 土地所有者の総意を得たうえで、国の補助制度を活用しながら進めていく。

DXの現状と今後の進展は



子どもの自殺防止



議会
栗原 恵子 議員

問 新庁舎での業務開始を見据え、現在どのような形でペーパレス化の取り組みを進めているか。

答 ソフトウェアを活用した簡易的な文書の電子回覧や、会議資料等の紙からデータへの

切り替えにより、順調にペーパレス化を進めている。現状は導入初期段階と捉えている。

今後の見通しは、令和8年度には財務会計システムを、令和9年度には文書管理システム



学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

する予定。これにより順次、会計処理や起案文書のソフトウェア上での決裁、データの情報の保管が可能となる。

問 DX推進担当を各部署に配置する予定は。

答 各部署から1名ずつDX推進検討グループメンバーを選任し、業務担当者目線でのデジタル技術による実務的な業務改善などの検討を行う。

問 各学校運営協議会の連携を深める地域教育ネットワークの構想をいつ着手する予定か。

答 具体的に着手の時期をお示しできる段階には至っていない。学校運営協議会の一層の充実を図り、全町的なネットワーク化の必要性や効果を見極め段階的に検討を進めていく。



日本共産党
おの こういち
大野 興一 議員

問 厚生労働省によると、24年の自殺者数2万320人。小中高校生の自殺は529人。前年比3%増、過去最多。伊奈町の小中学校の過去5年間の自殺、自殺未遂者は。

答 過去5年間に自殺、自殺未遂者は、いない。

問 自殺防止教育は命の尊厳を基盤とした教育の重要な柱の1つで、学校教育全体で、計画的に進めている。

問 障がい者等投票支援を
高年齢者・障がい者の投票支援は。

答 ①投票所出入口のスロープ設置、②投票用紙への記入をサポートする「代理投票」、③投票所に行くことが困難な身体障害者手帳を持つ方、「要介護5」の方には「郵便投票」④目の不自由な方への「点字投票」などの支援をしている。

問 高年齢者・障がい者の投票率は。

答 参議院議員通常選挙で、75歳以上の高年齢者の投票率は55・95%。障がい者で郵便投票を請求した人のうち実際に投票したのは75%。

問 高年齢者・障がい者の投票にタクシー券の配布は。

答 選挙人にタクシー券は配布していない。

公職選挙法

第一条 この法律は、日本国憲法の精神に則り、衆議院議員、参議院議員並びに地方公共団体の議会の議員及び長を公選する選挙制度を確立し、その選挙が選挙人の自由に表明せる意思によって公明且つ適正に行われることを確保し、もつて民主政治の健全な発達を期することを目的とする。

高年齢者・障がい者に投票支援を

安心安全の入浴施設

〔老人福祉センター〕をもとめて



立憲民主党
あおき ひさお
青木 久男 議員

問 入浴施設から基準値を越えるレジオネラ属菌が検出された（令和7年11月）ことについて説明を。

答 11月7日に、女子浴槽から採取したお湯から基準値を上回るレジオネラ属菌の検出が

報告され、それ以降利用を停止している。

問 鴻巣保健所からの指導内容はどうか。

答 浴槽のタイルのひび割れの補修、換気方法の検討、ろ材の交換、利用客のマナーの向上対策、消毒の際に使用



基準値を越えるレジオネラ属菌が検出され、利用中止となった入浴施設がある総合センター

する塩素濃度の適正管理等5項目あった。

問 6年前と4年前に続いて3度目の発生に「またか」の感がある。

3年前再発防止に強い決意で臨んだはずでなかったか。当局の見解は。

答 前回の発生後、入浴生マニキュアを作成し、現場において徹底した衛生管理を行ってきたが、今回の発生を真摯に受け止める必要があると認識している。

問 再発防止のため有識者会議などの第3者機関の確認が必要でないか。

答 町ではそのような機関は保健所であると考えている。今後許可権者である鴻巣保健所の指導に基づき対応していく。

快適な都市公園性に向け、雑草処分を促進



かわうち まさと
川内 雅人 議員

問 昨年度の町管理の公園の除草実施実績は。

答 民間委託22箇所は5月から10月の期間に月1回の除草作業を実施しているが、シルバー人材センター委託の18箇所は、猛暑のため、

春と秋の期間に1、2回である。

問 雑草が繁茂する公園としない公園は土壌構成上の違いはあるか。

答 土壌改良した南部大公園など雑草が生えにくい公園もある。土



胸丈まで伸びた雑草が繁茂する公園

壌改良など対策方法を検討する。

問 町制施行記念公園第一球場の排水改善は。

答 野球場以外に各種イベントなど、多目的に使用されており、排水改善の整備等が必要であると考えている。

しかし、整備方法や費用の捻出など多角的な視点による検討が必要であり、調査、研究する。

問 町が保有する乗車型草刈り機を地域に貸し出してはどうか。

答 老朽化により安全性が担保できないため、住民への貸し出しは行わない。

問 公園での除草剤使用の基準はあるか。

答 明文化されたものはないので、作成を検討する。

活字文化を守り、
町の未来を守り、
人の尊厳を守る



公明党
とばりみつえ
戸張 光枝 議員

新聞配備状況と地方交
付税適正活用について

問 国は学校新聞配備の経費を地方交付税で措置しているが実際は一紙のみ購読が8年続いている。偏った論調について認識は。

答 複数の新聞を読み

比べることは、多様な考え方に触れられると認識している。学校現場と相談する。

新聞を題材に「読む・書く・考える」活動を

問 町の民間事業者と連携し、新聞を活用した認知症予防セミナー



産後ケアを支える助産師の業務や物価高騰等に見合う委託料の適正化が不可欠

などの取り組み推進は。

答 検討する。

産婦の心身回復に重要な産後ケア事業

問 助産師への委託料の設定基準は。

答 近隣市とのバランスを考慮し北本市、桶川市と同額の5万円。

問 物価・人件費の上昇を踏まえ委託料の見直し検討は。

答 近隣市と協議していく必要がある。

安全と負担軽減のため害虫等駆除に補助金を

問 ハチなど害虫駆除に関する相談件数は。

答 駆除業者を紹介しているが相談件数は集計していない。

問 実態把握の精度を高めるため集計は。

答 今後記録していく。

問 高齢者世帯や緊急案件について支援は。

答 研究していく。

第29回 新庁舎建設特別委員会

11月開催の第29回新庁舎建設特別委員会の概要です。

建設スケジュール

現状、遅延なく進捗しており、1月16日に起工式を行い工事着手する見通しが示された。

前回指摘項目への回答

議場内の採光は、天井高さ、議長席後ろのハイバックの高さ、窓の高さを鑑み、問題ない。災害時の議場の照度は、非常灯・通路誘導灯などで足元が見える状態で避難できる程度は確保されている。

委員会での主な質疑

問 非常用発電機の設置場所、非常時の給電エリアは。

答 非常用発電機は4階に設置される。非常時の給電エリアは、災害対策本部が設置される3階大会議室が中心になる。

問 災害時のトイレ使用は。

答 下水管破損の場合も地下に汚水を溜めるピットを設置しており、一定期間は使用可能だ。

新庁舎建設スケジュール

令和7年度			令和8年度												令和9年度												令和10年度								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
I 期工事（19.5か月） 新庁舎・別棟																			移転準備			II 期工事（8か月） 既存棟解体・外構													

常任委員会視察報告

～先進地の事例に学ぶ～

総務建設産業常任委員会

●視察地 埼玉県飯能市・茨城県常総市

●視察日 令和7年10月1日・2日

下水道事業の包括的民間委託と 防災先進都市を目指す取り組み

下水道事業の包括的民間委託

飯能市は人口約7万8千人で、浄化センターがあります。民間委託の時には、下水道施設の老朽化と管きよの点検・清掃が課題でした。平成21年度に明電ファシリテイサービズ株式会社に下水道事業を包括的に委託します。3年契約の形を取り、最初の1年の費用は総額2億8100万円でした。

防災先進都市

常総市は人口約6万人です。平成27年9月の東北・関東豪雨により、記録的な大雨に襲われ、鬼怒川の堤防が決壊しました。9月10日に鬼怒川堤防左岸が200mにわたって決壊し、常総市の3分の1が浸水しました。そこで、自分の逃げ方を手に入れるために、「マ



飯能市浄化センターを見学する委員達

イ・タイムライン検討会」を実施し、市内小中学校一斉防災教育を実施し、「防災教育日本一」を目指しています。伊奈町の下水道事業と防災の取組に生かしていきたいと考えます。

文教民生常任委員会

●視察地 東京都府中市・神奈川県厚木市

●視察日 令和7年10月23日・24日

不登校支援・小中学校体育館への エアコン設置について

不登校支援学びの多様な 化学校「かがやき」

府中市においては、近年不登校の児童・生徒数が増加傾向にあり、社会的な自立を支援する方法が必要であると考え、府中市教育センターに不登校特例校である「かがやき」を開設しました。生徒一人ひとりが実態に応じた登校プランを作成し、自分たちで行事等の運営環境の整備をすることで、継続して登校する生徒が大幅に増え、生徒たちの自信につながっているそうです。



府中市教育センターにて不登校特例校「かがやき」の説明を受ける

体育館へのエアコン設置

厚木市では、児童生徒の健康確保および災害時の避難所環境改善の観点から、令和6年度から3か年計画で全小中学校36校の体育館へのエアコン設置を進めています。リース方式のため、国の補助金は受けておりませんが、断熱改修を実施せずとも十分な効果を得られているそうです。



町立小中学校体育館への空調設備設置の早期実施を求める建議書を提出（令和7年12月11日）

第13回 議会報告会

開催日

令和7年11月15日(土)

第1部

議会の概要、直近1年間の報告など

第2部

4グループに分かれて広聴会

希望者

議場見学

毎年度秋に行われる議会報告会を本年度も開催しました。

第13回目となる今回は、16名の方にご参加いただきました。議会報告に加えて広聴会を実施し、参加者の皆さまから町政に関して伺いました。自由闊達なご意見が交わされ、大変充実した時間となりました。寄せられたご意見は今後の議会活動に生かしてまいります。

第1部

はじめに、山野議会議長から町議会の概要について、説明がなされました。



議会についての説明

続いて、上野議長から、直近1年間の主な議会の動きなどの報告が行われました。



議会報告のようす

第2部

第2部では、4つのグループに分かれて広聴会を実施しました。

町政全般

今回の議会報告会でも、町政や町に関する多種多様なご意見やご要望、ご質問をいただきました。

議会は執行側の立場ではないことから、議会以外のことを直接お答えすることができないため、後日、町にご意見等をまとめた文書を提出しました。

頂戴したご意見は今後の議会活動に生かしてまいります。

ここでは、広聴会でのご意見を抜粋して掲載します。

議会・議員関連

◇議会報告会での意見要望が、どのように対処されたかを、一部でも良いので、翌年の報告会で報告してほしい。

◇「検討する」が執行部の答弁に多いので、議員はもっと突っ込みをいれるべき。また、いつまでに検討するのか明らかにしてほしい。

◇執行部は、議員の質問の背景を考えるべき。



議場での広聴会

◇「日本一住んでみたい町」と謳っているが、町としてアピールが足りない。

◇都市計画道路の県道中央線沿いに自宅があるため、計画がどのようなになっているのかを早めに知りたい。

◇町の人口が増えないのは、なぜか。

◇高齢化についての推移が心配。

施設や設備

◇県民活動総合センターの廃止検討について、県の施設ではあるが、議員のほうでもしっかり取り組んでほしい。

◇県民活動総合センターについて、何らかの形で存続できるようにしてほしい。

◇公園の雑草処理が不十分。

ボランティアで管理してくれるグループを募り、その名前を公園につけるのはいかがでしょうか。



◇図書館の蔵書の数が少ない。久喜市など他市の図書館との連携を進めてほしい。

◇ゆめくるの運営について、体育室が暑く、冷房空調の改善をしてほしい。

◇新庁舎建設で、仮駐車場が少ないため、近くにある店と提携を組んで借りてはどうか

防犯

◇侵入盗への対策強化が必要。被害が発生したら、防災無線で住民に周知するのはどうか

◇監視カメラ付きの自販機導入も求める。



住環境

◇地域（南北）の環境格差を感じるので改善すべきである。

例えば、夜の明るさに地域格差がある。北側はキラキラしている

◇空き家の整備ができていない。

空き地の建物部分の課税を高くすることで、処分を促進できるのは、空き家バンクの更なる周知を希望する。

◇クリーンデイの必要性について見直してほしい。

◇森林伐採で自然が減っているのは残念。以前は、フクロウの鳴き声が聞こえていたのに最近では全く聞くことができない。

教育・子育て

◇学校教育への予算配分を強化すべき。

◇学校のカーテンの洗濯代がない。

◇学校トイレの洋式化はありたいが、便座の蓋がなく、汚れる。

◇中学校の吹奏楽部で使用する楽器が古く、錆がある。錆びついた楽器を使用すると、健康被害の恐れもあるので心配している。

◇部活動の地域移行について、町内でも指導者不足は明らかだ。町は今後、受け皿をどうするのか検討していただきたい。

◇学校施設のAEDについて、学校外の人でも使用できるように、検討してほしい。

◇給食に毎回牛乳が出るが、頻度など検討しても良いのでは。

子どもたちは飲み物は持参しているし、汁物は毎日ある。

◇外国人の増加が町内でもあり、外国人に対する教育をしっかりして欲しい。

◇上尾と比較すると保育料等が高い。

高齢者福祉

◇孤立化させないための居場所を。

◇企画を立てても周知されず参加者が少ない。

◇高齢者の徘徊に対しての対策を考えるべき。行政無線で徘徊をアナウンスするが、「見つかりました」とその後の連絡も欲しい。

農業

◇米について、町内産のものを学校給食でもっと使用できれば良いと思う。

◇農地について、少ししか作付されていない場所がある。農作物の作付をしているのかどうか、農地の実態調査をすべきである。

◇空いている農地について、家庭菜園用に貸してもらえるようマッチングをしてほしい。

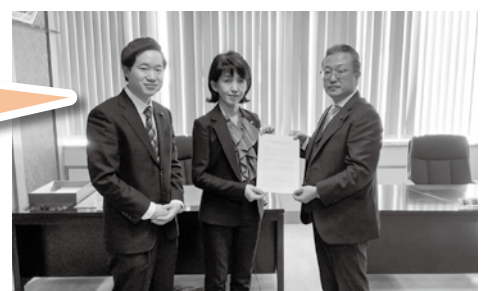
議会報告会のご感想

・インフラ老朽化や都市計画など様々な課題があり、それに対処を進めている様子が見えて良かった。

・初めて参加しましたが、色々な意見交換ができて良かったです。

・町政に関心をもつて、町づくりに参加したいと思いました。

今回の議会報告会で参加者の皆さまからいただいた貴重なご意見・ご要望は、令和7年12月11日に議長へ提出され、その後町にも共有されました。



○議会報告会アンケート集計結果

参加者16人／アンケート回答者16人
※一部未回答あり

性 別	・男性 10人 ・女性 3人
年 齢	・30代 1人 ・40代 1人 ・50代 7人 ・60代 1人 ・70代 2人 ・80代 4人
住 所	・伊奈町 14人 ・上尾市 1人
参加回数	・1回 8人 ・2回 4人 ・4回 1人 ・8回 1人 ・毎回 1人
議会報告会を知ったきっかけ	・議会だより 8人 ・広報いな 5人 ・行政掲示板 3人 ・町のウェブサイト 2人 ・議員からの案内やチラシ 4人
今回の満足度	・大変満足 5人 ・満足 10人 ・少し満足 1人
今回の所要時間はどうか	＜議会報告＞ ・ちょうどよかった 9人 ・長かった 1人 ・短かった 5人 ＜広聴会＞ ・ちょうどよかった 10人 ・短かった 2人

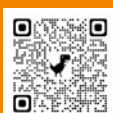
次回定例会開会予定日は

2月25日(水)です



傍聴は簡単です。
ご覧になりたい議会がある日に議会事務局へお越しいただき、簡単な手続きで傍聴できます。日程や詳細は、伊奈町議会ウェブサイトをご覧ください。
また、ネットでも中継や録画をご視聴いただけます。

議会を傍聴
してみませんか



(ネット中継)



▲バラ園視察の様子

10月31日に東京都荒川区議会の観光・文化推進調査特別委員会及び荒川区関連部局が「バラを用いた観光施策」についての視察研修のために来庁しました。
議会からは上野議長が参加しました。

ようこそ！
荒川区議会

応募期間

いつでも募集しております。



※人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けてください。
おおむね2年以内に撮影された未発表の写真で、1回につき2枚まで応募できます。

応募規定

伊奈町在住、在勤または在学の方

応募資格

伊奈町内で撮影された写真、もしくは伊奈町に関連する写真
写真は、行事、風景、その他季節に合うものを募集します。

募集内容

★採用された方にトートバッグを呈呈させていただきます。



「伊奈町議会だより」の表紙に皆さまからの写真を募集しております。
応募規定などの詳細は、隣の二次元コードを読み取り、ご確認ください。
ご応募お待ちしております！



**あなたが撮影した
お写真が表紙に！**

**伊奈町議会だより
表紙写真募集中！**

議会クイズ

クロスワードクイズ
第63弾です。

1		F	2	A		3
			6	5		
7		4				
8	B				C	
9					D	E

- タテのカギ
- 地球をぎゅっと小さくして机に載せるもの。
 - 今年の干支の子供。
 - 買い物時、お店から商品以外にももらえるもの。
 - 映画監督、世界の〇〇。
 - 2月3日は豆を撒いて
- ヨコのカギ
- バレンタインデーに渡すのは？
 - 右に曲がります。
 - 冬の札幌の二大イベント。
 - 12月31日の紅組対白組の〇〇合戦！
 - 沖縄県那覇市の北に隣接する市。
 - 問題
 - ABCDEFGHIの順に並べた言葉は何でしょうか。
 - 答えのヒント
 - 公務員が職務上、作成、取得し組織的に利用・保有している文書

応募方法

★はがきに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、

〒362-8517

伊奈町中央四丁目355番地

議会広報委員会

までお送りいただくか、

二次元コード(伊奈町

電子申請・届

出サービス)↓



「議会クイズ」

からご応募ください。

なお、本誌へのご意

見やご感想などありま

したら、あわせてお寄

せください。

☆締切 2月28日(当

日消印まで有効)

前回の答えと当選者

答え「しちいさん」

応募総数71名

正解者71名



※色は選べません
「トートバッグ」
ローズちゃんローズくんの

答え(例) A B C D E F
郵便番号・住所
氏名・年齢
電話番号
ご意見・感想など(あれば)

(うら)

伊奈町中央四丁目355番地
議会広報委員会行
切手 85円
362-8517

(おもて)

読者の声

一部掲載

- ◆ローズちゃんのトートバッグがとても可愛らしいので、買い物に使いたいです。(20代)
- ◆小学生でもわかる議会だよりを作ってほしいです。(10代)
- ◆より詳しく分かりやすく発信して下さい。(50代)
- ◆クイズからよい刺激をもらい頭の体操になっています。(80代)
- ◆イベントが増えて出かける事も多くなりました。(70代)
- ◆孫と楽しめました。もう少し大きいものにも、挑戦してみたいです。(70代)
- ◆議会クイズは、いつも家族で盛り上がりります。(10代)
- ◆町の活動がよくわかり、楽しみです。(40代)
- ◆議会で今どんな事が

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
昨年6月議会より議会は新体制となり、より開かれた議会を目指してまいりました。議会だよりも誌面づくりを工夫し、町民の皆様との距離が近くなるよう心がけています。その一環として、表紙の写真を広く募集しております。四季の風景や身近な1枚など、ぜひご応募下さい。
また、令和10年に開



庁予定の新庁舎の工事が始まり、来庁者の皆さまには駐車場の混雑などご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力をお願い致します。本年も議会を身近に感じていただける誌面を目指してまいります。(栗原恵子)

議会広報委員会

委員長 高橋まゆみ
副委員長 富井 篤弥
委員 五味 雅美
委員 藤原 義春
委員 栗原 恵子
委員 山野 智彦
委員 木俣美千代
委員 川内 雅人
委員 仲島 雄大